



資料提供
令和4年4月19日
課名 観光課
担当 矢野
内線 2423
電話 082-513-2423



## Special Award of World Bicycle Day (世界自転車デー特別表彰) 受賞について

このたび、「瀬戸内しまなみ海道」におけるサイクリング推進の取組みが評価され、広島県 湯崎英彦知事及び愛媛県 中村時広知事が、「The Class of 2022 Laureates of World Bicycle Day of the United Nations Awards」(世界自転車デー国連表彰の2022年受賞者)として選定されましたのでお知らせします。

### 【受賞理由】

リーダーシップと卓越した取組により「しまなみ海道」をサイクリングパラダイスへと推進したこと。



国連では、2018年に6月3日をWorld Bicycle Day(世界自転車デー)と定めて、SDGsの実現に貢献し、単なる交通手段としてだけでなく、教育・健康・スポーツにも役立つツールとして自転車を位置付け、世界中に自転車の有益性を広めるとともにその活用に取り組むよう決議がなされており、その活動の一環として、サイクリングの普及促進等に貢献している団体・個人を称えるため2021年に特別表彰制度を創設した。

## 【愛媛県知事のコメント】

### ○中村知事

このたび、名誉ある賞をいただきましたことは、しまなみ海道のサイクリングを取り巻く環境のすばらしさが、世界で認められ、評価されたものと受け止めており、大変うれしく思います。

この賞に恥じぬよう、今後とも、広島県と連携し、国連決議の理念に沿って更なる取り組みを進めてまいります。

(添付資料)

- 1 2018年4月12日に総会により採択された決議（日本語版）
- 2 2021年、2022年受賞者一覧（英語版）
- 3 世界自転車デー特別表彰、世界自転車デーの概要

問合せ先

広島県商工労働局観光課

TEL：082-513-2423 FAX：082-223-2135

愛媛県観光スポーツ文化部観光交流局

自転車新文化推進課

TEL：089-912-2234 FAX：089-912-2256

第72会期

議事日程議題 11

2018年4月12日に総会により採択された決議

[主要委員会への付託なし (A/72/L.43 and A/L.43/Add.1)]

72/272. 世界自転車デー

総会は、

2005年9月16日の60/1と2010年9月22日の65/1の総会諸決議において宣言されたように、ミレニアム開発目標の実現に対するスポーツの貢献を認識し、

持続可能な開発のための2030アジェンダ(決議70/1)において、とりわけ、スポーツが持続可能な開発のための重要な実現要因として認められたことを想起し、

2030アジェンダの持続可能な開発目標と具体的目標を含む、国際的に合意された開発目標の達成に対して貢献する自転車の可能性また平和の文化を最大化するため、あらゆるレベルで、マルチ・ステークホルダー・パートナーシップを含む、取組を強化しそして更に調整する必要性を認識し、

国際年の宣言に関する1998年12月15日の53/199と2006年12月20日の61/185の総会諸決議、および国際年と記念祭に関する1980年7月25日の経済社会理事会決議1980/67、とりわけ宣言のための合意された基準に関するその附属文書の第1項から第10項を、並びにその計画と資金調達のための基本的な準備が為される前に国際デーまたは年が宣言されるべきでないことを述べている第13および14項を再確認し、

2016年10月17日から20日までキトで開催された、居住および持続可能な都市開発に関する国際連合会議(ハビタットIII)において採択されたニュー・アーバン・アジェンダ(決議4/256、添付文書)を想起し、

2世紀の間使われてきている、また環境への責務と健康を促進している、簡単で、手ごろで、信頼でき、低公害のそして環境的に適した移動の持続可能な手段である、自転車の唯一性、長く使われていることそして多用途性を認め、

自転車と使用者との間の相乗効果が、創造性と社会関与を促進しまた使用者に地域環境の直接の意識を与えていることを認識し、また自転車は、開発のための道具としてまた単に移動だけの手段ではなく教育、健康管理とスポーツに対するアクセスの手段として役に立つことができることを認識し、

自転車は、持続可能な輸送の象徴でありまた持続可能な消費と生産を促進するための積極的なメッセージを伝え、そして環境への積極的な影響を有していることを強調し、

サイクリングを含む、スポーツと体育を通じた社会開発を促進することにおいて、要請に基づいて、加盟国を支援することにおける、国際連合制度とその国別計画の役割を認め、

平和と開発、環境の保存、制度開発および物的インフラや社会的インフラを促進するための自転車ラリーの準備のための資金調達計画における生産的な官民連携の極めて重要な役割を強調し、

主要な国際的なまた地元のサイクリング大会は、平和、相互理解、友好、寛容およびあらゆる種類の差別を承認しがたいことの中で準備されるべきことにまたそのような催し物の統一するまた怒りを鎮める性質は尊重されるべきことに留意し、

1. 6月3日を世界自転車デーと宣言することを決定する。
2. 全ての加盟国、国際連合制度の諸機関およびその他の関連する国際機構、国際的な、地域的なそして国内のスポーツ組織、非政府組織と民間部門を含む市民社会、およびその他の全ての関連する利害関係者に対し、同世界デーを祝いそしてその認識を促進するため、世界自転車デーを祝うことにおいて協力することを招請する。
3. 加盟国に対し、分野横断的な開発戦略において自転車への特別な注意を向けることそして適切な場合には、国際的な、地域的な、国内のまた地方の開発政策や計画に、自転車を含めることを奨励する。
4. 加盟国に対し、より広範な健康の成果、とりわけケガや非感染性疾患の予防を目的として、とりわけ歩行者の安全とサイクリングの機動性を積極的に保護しそして促進するための政策や措置を通して、道路の安全性を改善しそしてそれを持続可能な機動性と輸送のインフラ計画や設計に統合することをまた奨励する。
5. 利害関係者に対し、持続可能な開発を促進すること、子どもと若者のための、体育を含む、教育を強化すること、健康を促進すること、疾病を予防すること、寛容、相互理解と尊敬を促進することそして社会的包摂と平和の文化を促進することの手段として、自転車の使用を強調しそして先に進めることを奨励する。
6. 加盟国に対し、社会の全ての構成員の中に自転車を促進するための最善の慣行と手段を取り入れることを奨励し、そしてこれに関連して、肉体的および精神的健康並びに福祉を強化することまた社会におけるサイクリングの文化を策定することの手段としての国のまた地方のレベルでのサイクリングを準備する自発的活動を歓迎する。
7. 事務総長に対し、全ての加盟国、国際連合システムの諸組織の注意をこの決議に向けてることを要請する。
8. 本決議の実施から生じる可能性のある全ての活動の経費は、自発的拠出金で支払われるべきことを強調する。

第 82 回本会議

2018 年 4 月 12 日

The Class of 2021 Laureates of World Bicycle Day of the United Nations Awards:

1. Lauren Winkler - USA - middle school teacher - Stone Ridge School
2. Krystyna Sibilska - USA - middle school teacher - Stone Ridge School
3. Auke van Anandel - The Netherlands - influencer
4. Kevin Scott - USA - medical technician, minority cycling advocate
5. Carlton Kirby - Great Britain - TV cycling broadcaster
6. Bill Nesper - USA - CEO of League of American Bicyclists
7. Nelson Schneider Todt - Brasil - professor
8. Bernice Dapaah - Ghana- Bamboo Bikes Initiative
9. The Permanent Mission of the Republic of Poland to the United Nations in New York
10. Ken Podziba - USA - President of Bike New York
11. Leslie Scanlon - Canada - Ambassador
12. Texas 4000 for Cancer - USA - Student NGO.
13. Lt. Jason Cusack - USA - North Haven Fire Department, CT
14. Sathya Sankaran - India - Relief Riders
15. S.K. Jason Chang - Taiwan - professor
16. Anna Sochanska - Poland - Ambassador
17. Norbert Muller - Germany - professor
18. Peter Sagan - Slovakia - professional cyclist
19. Arkady Rzegocki - Poland - Ambassador
20. Claudia López - Colombia - Mayor of Bogotá
21. Laura Kenny - Great Britain - Olympic Track Cyclist
22. Jason Kenny - Great Britain - Olympic Track Cyclist
23. Tadej Pogačar - Slovenia - Professional Road Cyclist
24. Mathieu Van Der Poel - The Netherlands - Professional Road & CX Cyclist
25. Harrie Lavreysen - The Netherlands - Olympic Track Cyclist
26. Ernesto Colnago - Italy - Bicycle Manufacturer

The Class of 2022 Laureates of World Bicycle Day of the United Nations Awards:

1. Lake Sagaris - Chile - professor/advocate
2. Clarence Eckerson Jr. - USA - filmmaker
3. Mikel Delagrange - USA - human rights lawyer
4. Firoza Suresh - India - Bicycle Mayor of Mumbai
5. Maud de Vries - The Netherlands - Global Bicycle NGO
6. Iain Treloar - Australia - journalist
7. Vicky Liu Yang - Taiwan - cycling executive/advocate  
(台湾の自転車新文化基金會 会長 劉麗珠)
8. World Bicycle Relief - USA - Global Bicycle NGO
9. Nepal Cycle Society - Nepal - NGO
10. Manfred G. Neun - Germany - cycling executive/advocate
11. Manuel de Araujo - Mozambique - Mayor of Quelimane
12. Yuzaki Hidehiko - Japan - Governor of Hiroshima Prefecture  
(広島県知事 湯崎英彦)
13. Nakamura Tokihiro - Japan - Governor of Ehime Prefecture  
(愛媛県知事 中村時広)
14. Julianne Idlet - USA - cycling advocate for all children
15. Czeslaw Lang - Poland - cycling organizer, former Olympic and professional cyclist
16. Felipe Targa - Colombia - World Bank - transport expert
17. Adam Pawlicki - Poland - Mayor of Jarocin
18. Pinar Pinzuti - Italy - cycling advocate for women
19. Sema Gür - Turkey - cycling advocate for women
20. Amanda Ngabirano - Uganda - advocate
21. King Liu - Taiwan - retired executive of a bicycles manufacturing corporation  
(ジャイアント 元会長 劉金標)
22. Kwon Heog-Chul - the Republic of Korea - cycling advocate
23. Bicibús escolar a l'Eixample de Barcelona - Spain - children cycling initiative
24. London Ambulance Service's Cycle Response Unit - UK
25. Marianne Vos - The Netherlands - Olympic Road, CX, Mountain, track cyclist
26. Marco Te Brömmelstroet - The Netherlands - professor
27. Selda Abyar - The Netherlands - bicycle safety advocate
28. Mariusz Lewicki - Poland - diplomat
29. Henryk Charucki - Poland - cycling advocate, former professional cyclist

## Special Award of World Bicycle Day (世界自転車デー特別表彰)

2021年に創設

世界自転車デーに係る国連決議の主旨を踏まえ、世界で50%に留まる自転車に乗れる人の割合を100%に高めるほか、世界中の学校で体育、市民・経済教育のツールとして、アクティブな移動手段、アスリートによる競技、レクリエーション、健康で生産的な生活を送るための手軽なツールとして、自転車を活用し、サイクリングを推進するという目標に対し、日々興味深い活動を行いサイクリングの普及促進に貢献している団体・個人を表彰するもの。

### 【受賞者】

2021年 団体等：2、個人：24 (14の国と地域)

2022年 団体等：4、個人：25 (18の国と地域)

## World Bicycle Day (世界自転車デー)

アメリカで社会学を講ずるレゼック・シビルスキ (Leszek Sibilski) 教授は、草の根運動を主導し、世界自転車デーの国連決議を推進し、世界自転車デー (World Bicycle Day) は、2018年4月12日に国連総会決議 72/272において、加盟全193カ国の賛成により採択・制定された国際デーで、6月3日。決議では「2世紀にわたって使用されてきた自転車の掛け替えのなさ、息の長さ、汎用性の高さといった特性」を認め、自転車は「シンプルで手頃であり、信頼性が高く、クリーンで環境にやさしい持続可能な交通手段である」として、世界中で自転車の活用を進めるよう要請している。

### ○世界自転車デーの意義

自転車は単純で、手頃な価格で、信頼性が高く、清潔で、環境に優しい持続可能な交通手段である。また、自転車は発展のための道具であり、単なる交通手段だけでなく教育・健康・スポーツにも役立つ。

自転車と利用者の中に生まれる相乗効果は、創造性と社会性を促進し、利用者に地域環境への意識を促す。自転車は持続可能な交通手段の象徴であり、持続可能な消費と生産を促進するという前向きなメッセージを伝え、気候にも良い影響を与える。

世界自転車デーは、属性に関係なくすべての人のためにある。人間の進歩と前進の象徴としての自転車は、寛容、相互理解、尊重を促進し、社会的包摂と平和の文化を促進する。